

製品安全データシート

1. 製品・会社情報

製品名 : タケシール#3000 トップコート A液
 会社名 : 竹林化学工業株式会社
 住所 : 大阪府東大阪市澁川町3丁目1番43号
 担当部門 : 品質管理部 (担当者 大江吉郎)
 電話番号 : 06-6721-6165
 FAX 番号 : 06-6720-7308
 緊急連絡先 : 06-6721-6165
 奨励用途と使用上の制限 : 工業用 (UV防水層用保護剤、2液溶剤型アクリル樹脂塗料 等)
 整理番号 :
 作成 : 2006年12月1日
 改訂 : 2011年11月10日

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 引火性の高い液体および蒸気、吸入すると有毒

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分5
 (経皮) : 区分外
 (吸入 ガス) : 分類対象外
 (吸入 蒸気) : 区分3
 (吸入; 粉塵 ミスト) : 区分5

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

眼損傷性/刺激性 : 区分2A

呼吸器感作性 : 区分1

皮膚感作性 : 区分1

生殖細胞変異原性 : 区分外

発ガン性 : 区分2

生殖毒性 : 区分1B

特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)
 : 区分1

特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)
 : 区分1

吸引性呼吸器有害性 : 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) : 区分1

水生環境有害性 (慢性) : 区分3

オゾン層への有害性 : 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体および蒸気。

飲み込むと有害のおそれ。
 吸入すると有害。
 皮膚刺激。
 強い眼刺激。
 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ。
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 発がんのおそれの疑い。
 生殖能力または胎児への悪影響のおそれ。
 臓器の障害。(呼吸器、呼吸器系、中枢神経系、腎臓、肝臓)
 長期にわたる、または、反復暴露による臓器の障害。(呼吸器系、神経系)
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
 水生生物に非常に強い毒性。
 長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き

〔安全対策〕

: 使用前に取扱説明書を入手しすべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 容器を密閉しておくこと。
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
 静電的に敏感な物質を積みなおす場合、製品が危険有害な気体を発生させるほど揮発性である場合は容器を接地すること/アースをとること。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生させない工具を使用すること。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 環境への放出を避けること。

〔応急処置〕

: 取り扱った後、手を洗うこと。
 次の場合は直ちに医師に連絡し診断/手当てを受けてください。
 (皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合。)
 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
 漏出物を回収すること。

〔保管〕

: 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 施錠して保管すること。

〔廃棄〕

: 内容物/容器を廃棄する時は、関係法令に基づき、自社で適正に処理するか又は廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物	
化学名	: 末端イソシアネート基含有ウレタン [®] レポ [®] リマー	
成分及び含有量	: ①NCO 基末端ウレタン [®] レポ [®] リマー	約 20%
	②キシレン	50~60%
	③酢酸エチル	10~20%
	④酢酸 2-エトキシエチル	1~5%
化学式又は構造式	: (末端イソシアネート基含有ウレタン [®] レポ [®] リマー)	
官報公示整理番号 (化審法)	: ①7-820	
	②3-3	
	③2-726	
	④2-740	
官報公示整理番号 (安衛法)	: ①~④既存	
CAS 番号	: ①非公開	
	②1330-20-7	
	③141-78-6	
	④111-15-9	

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受ける。必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。
皮膚に付着した場合	: 多量の水および石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 直ちに清浄な流水で 15 分以上洗浄した後、医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 水で口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
応急処置をする者の保護	: 救助者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。
使ってはならない消火剤	: 棒状の水。
特定の危険有害性	: 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用して煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業には、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	: 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
除去方法	: 少量の場合、吸着剤（土・砂・ウス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。必要に応じて中和処理を行う。[中和剤の例] 水炭酸ナトリウム液体洗剤=90~95/5~10/0.2~2（重量比）

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。床を濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。回収物の収容容器は内容物の処分を行うまで密閉しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
 注意事項 : 火気厳禁。
 安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保管

適切な保管条件 : 屋内の通気の良い場所で容器を密閉し保管する。火気厳禁。窒素ソールをして保管する。酸性物質と一緒に保管しない。水・雨漏れ注意。
 安全な容器包装材料 : 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

: 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。機具類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

管理濃度

: 0.005ppm(TDI)、50ppm(キシレン)、200ppm(酢酸エチル)、5ppm(酢酸 2-エトキシエチル)

許容濃度

日本産業衛生学会

: (2010 年度版) 50ppm、217mg/m³ (キシレン)
 50ppm、217mg/m³ (エチルベンゼン)
 200ppm、720mg/m³ (酢酸エチル)
 5ppm、27mg/m³ (皮) (酢酸 2-エトキシエチル)
 0.005ppm、0.035 mg/m³ (TDI)
 0.02ppm、0.14mg/m³ (最大値) (TDI)

ACGIH

: (2009 年度版) TWA 100ppm、STEL 150ppm (キシレン)
 TWA 100ppm、STEL 125ppm (エチルベンゼン)
 TWA 400ppm (酢酸エチル)
 TWA 5ppm (皮) (酢酸 2-エトキシエチル)
 TWA 0.005ppm、STEL 0.02ppm (TDI)

保護具

呼吸器用の保護具

: 必要により有機溶剤用防毒マスク。

手の保護具

: 不浸透性 (耐薬品、耐油、耐溶剤) 保護手袋。

目の保護具

: 側板付保護眼鏡 (必要によりゴーグル型または全面)

皮膚及び身体の保護具

: 静電気防止加工長袖作業衣等。

適切な衛生対策

: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状

: 液体

色

: 淡黄色透明

臭い

: 溶剤臭あり

臭いの閾値

: データなし。

pH

: データなし。

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点

: 77.2°C (酢酸エチル)

融点	: データなし。
分解温度	: データなし。
引火点	: 10°C (TCC)、12°C (SCC)
発火点	: 426°C (酢酸エチル)
爆発特性	
爆発限界 上限	: 11.5% (酢酸エチル)
爆発限界 下限	: 2.0% (酢酸エチル)
蒸気圧	: データなし。
蒸気密度	: データなし。
比重	: 約 0.92 (25°C)
溶解性	
水溶解性	: 難溶。
溶媒溶解性	: データなし。
n-オクタノール/水分配係数	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
その他のデータ	: 粘度 約 10mPa・s 以下 (25°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常取り扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
危険有害反応可能性	: 本製品は非常に活性が強く、水・アルコール・アミンなどの活性水素化合物と反応して発熱する。塩基性物質や、ある種の金属化合物の存在によって重合発熱する。水と反応して二酸化炭素を発生する。
避けるべき条件	: イソシアネートと反応する水等との接触を避けること。
混蝕危険物質	: 銅及びこれらの合金、アルミニウム、ポリ塩化ビニル。
危険有害な分解生成物	: 窒素化合物。
その他	: 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: LD50 4,560mg/kg (計算値) (未知成分 18%)
(経皮)	: LD50 16,149mg/kg (計算値) (不明成分 44%)
(吸入: ガス)	: 分類対象外
(吸入: 蒸気)	: LC50 6.20mg/l (計算値) (未知成分 20%)
(吸入: 粉塵、ミスト)	: LC50 24.2mg/l (計算値) (未知成分 98%)
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2 (キシレン・TDI が区分 2、エチルベンゼン・酢酸 2-エトキシエチルは区分 3、酢酸エチルは区分外) ¹⁾²⁾
眼損傷性/刺激性	: 区分 2A (キシレン・TDI は区分 2A、エチルベンゼン・酢酸エチル・酢酸 2-エトキシエチルは区分 2B) ¹⁾²⁾
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性 ; 区分 1 (TDI) ²⁾ 皮膚感作性 ; 区分 1 (TDI) ²⁾ (酢酸エチルは区分外) ¹⁾
生殖細胞変異原性	: データなし。(但し、キシレン・エチルベンゼン・酢酸 2-エトキシエチル・酢酸エチルは区分外) ¹⁾
発ガン性	: 区分 2 (エチルベンゼン・エチルベンゼンは区分 2、キシレンは区分外) ¹⁾
IARC	: グループ 2B (TDI・エチルベンゼン)、グループ 3 (キシレン)
日本産業衛生学会	: 第 2 群 B (TDI、エチルベンゼン)
生殖毒性	: 区分 1B (キシレン、エチルベンゼン、酢酸 2-エトキシエチル) ¹⁾
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: キシレン ; 区分 1 (呼吸器、中枢神経系、腎臓、肝臓)、区分 3 (麻酔作用) ¹⁾ エチルベンゼン ; 区分 2 (中枢神経系)、区分 3 (気道刺激性) ¹⁾ 酢酸エチル ; 区分 1 (呼吸器系)、区分 3 (麻酔作用) ¹⁾
特定標的臓器毒性(反復暴露)	

吸引性呼吸器有害性 : キシレン ; 区分 1 (呼吸器、神経系) ¹⁾
 : 区分 1 (エチルベンゼンが区分 1、キシレンが区分 2) ¹⁾

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : 急性区分 1 (エチルベンゼンが区分 1、キシレンが区分 2、酢酸 2-エトキシエチル・TDI は区分 3) ^{1) 2)}
 残留性/分解性 : 慢性区分 3 (キシレンが区分 2、エチルベンゼン・酢酸 2-エトキシエチルは区分外) ¹⁾
 生体蓄積性 : データなし。
 土壤中の移動度 : データなし。
 その他のデータ : データなし。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。引火性物質 (キシレン、エチルベンゼン、酢酸エチル、酢酸 2-エトキシエチル) を含むので注意する。廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) の特別管理廃棄物、消防法を遵守し、適正に処理する。
 汚染容器・包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国内法規制陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に該当する場合は定められている運送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に該当する場合は定められている運送方法に従う。
 国際法規制 : 航空輸送は IATA、および海上輸送は IMDG の規則に従う。
 国連分類 : クラス 3 (引火性液体類) [但し、未反応 TDI 1%未満]
 国連番号 : UN1866
 国連品名 : 樹脂液
 容器等級 : P.G. II
 海洋汚染物質 : P 表示
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。消防法危険物第 4 類第 1 石油類に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。船舶安全法に基づく危規則引火性液体類物質に該当するので、海上輸送の場合は、同法の規定に従って容器、および標識その他必要な措置を講じて輸送する。直射日光を避ける。水漏れ厳禁。[但し、未反応 TDI 1%未満]

1 5. 適用法令

国内適用法
 化審法 特定化学物質 : 優先評価化学物質 (エチルベンゼン) を含有する。
 監視化学物質 : 旧第 2 種監視化学物質 (酢酸 2-エトキシエチル) を含有する。
 優先評価化学物質
 消防法 危険物 : 第 4 類 第 1 石油類 (非水溶性) 危険等級 II
 安衛法 危険物 : 引火性のもの
 表示 : キシレン、酢酸エチル、エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート

有機則	: 第2種有機溶剤 キシレン 20～30% 第2種有機溶剤 酢酸エチル 10～20% 第2種有機溶剤 エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート 1.7%
特化則	: 否
通知対象物質	: 136号 キシレン 24% 70号 エルベンゼン 36% 177号 酢酸エチル 10～20% 78号 エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート 1.7% 405号 トリレンジイソシアネート 0.1%以上～1.0%未満
毒物劇物取締法	: 否
船舶安全法	: 危規則告示別表第1 (引火性液体類)
航空法	: 告示別表第1 (引火性液体)
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 第1種 80号 キシレン 24% 第1種 53号 エルベンゼン 36% 第1種 133号 酢酸2-エトキシエチル 1.7%
海洋汚染防止法	: 否
悪臭防止法	: 特定悪臭物質 (キシレン、酢酸エチル)

16. その他の情報

引用文献

- 1) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
- 2) 汎用原料工業会

※ ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱には細心の注意が必要です。使用前のテストを含め本品の適性に関する決定は使用者の責任において行なってください。

記載内容の登録先

会社 : 竹林化学工業株式会社
担当部門 :

製品安全データシート

1. 製品・会社情報

製品名 : タケシール#3000 トップコート B液
 会社名 : 竹林化学工業株式会社
 住所 : 大阪府東大阪市澁川町3丁目1番43号
 担当部門 : 品質管理部 (担当者 大江吉郎)
 電話番号 : 06-6721-6165
 FAX 番号 : 06-6720-7308
 緊急連絡先 : 06-6721-6165
 奨励用途と使用上の制限 : 工業用
 整理番号 :
 作成 : 2012年2月1日 改定

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 有害性あり

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性

(吸入 蒸気) : 区分4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

眼損傷性/刺激性 : 区分2

生殖毒性 : 区分1A

特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)

: 区分1

特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)

: 区分1

吸引性呼吸器有害性 : 区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) : 区分2

水生環境有害性 (慢性) : 区分3

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 非常に引火性の高い液体および蒸気
 飲み込むと有害のおそれ
 吸入すると有害。
 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
 皮膚刺激
 重篤な眼への刺激。
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 臓器の障害。(呼吸器、肝臓、腎臓、中枢神経系)
 臓器の障害のおそれ (肺)
 呼吸器への刺激のおそれ

眠気またはめまいのおそれ。
 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 長期または反復暴露による臓器の障害（呼吸器、腎臓、肝臓、中枢神経系）
 水生生物に毒性あり
 長期的影響により水生生物に有害

注意書き

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 （製造者／供給者または規制当局が指定する）保護手袋および眼鏡、顔面用の保護具を着用すること。
 アレルギー反応を起こす人には取り扱わせないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 熱／火花／裸火／高温のような着火源から遠ざけること。－禁煙
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 容器を密閉しておくこと。（水が入ると、二酸化炭素を発生し破損するおそれがある。）
 粉じん／ヒューム／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 （必要な時以外は）環境への放出を避けること。
 施錠して保管すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	：混合物	
成分及び含有量	：①アクリル樹脂	35～40%
	②酢酸エチル	1%以内
	③キシレン	1～3%
	④酢酸ブチル	8～13%
	⑤トルエン	24～29%
	⑥エチルベンゼン	1～2%
	その他 顔料等	

化学式又は構造式	：①企業秘密	
	②	$\text{CH}_3\text{CO}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_3$
	③	$\text{C}_6\text{H}_4(\text{CH}_3)_2$
	④	$\text{CH}_3\text{CO}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_3$
	⑤	$\text{C}_6\text{H}_5\text{CH}_3$
	⑥	C_8H_{10}

官報公示整理番号（化審法）	：①－	
	②	(2)-726
	③	(3)-3
	④	(2)-731
	⑤	(3)-2
	⑥	(3)-28

官報公示整理番号（安衛法）：①－
 ②既存
 ③既存
 ④既存
 ⑤既存
 ⑥既存

CAS 番号：①－
 ②141-78-6
 ③1330-20-7
 ④123-86-4
 ⑤108-88-3
 ⑥100-41-4

4. 応急措置

吸入した場合：新鮮な空気の場所へ移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受ける。必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合：多量の水および石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて速やかに医師の診断を受ける。

目に入った場合：直ちに清浄な流水で15分以上洗浄した後、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

応急処置をする者の保護：救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。

使ってはならない消火剤：棒状の水。

特定の危険有害性：燃焼ガスには、一酸化炭素や窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業には、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項：漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除去方法：少量の場合、吸着剤（土・砂・ケス等）で吸着させて取り除いた後、ごく僅かな残留物を大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。必要に応じて中和処理を行う。

二次災害の防止策：付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。床を濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 注意事項 : 火気厳禁。
- 安全取扱い注意事項 : 容器内の圧力が高くなっている場合は蓋を少し緩めて圧力を抜き蓋をはずす。水の付着した用具で本製品を使用してはならない。(水と反応し、二酸化炭素を放出する。)
- 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

- 適切な保管条件 : 屋内の通気の良い場所で容器を密閉し保管する。火気厳禁。
容器を開放した後は、空間部分を窒素や乾燥空気(露点-30度)で満たして密栓する。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。機械類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

管理濃度

- : 200ppm(酢酸エチル)、100ppm(キシレン)、20ppm(トルエン)

許容濃度

- 日本産業衛生学会 : (2007年度版) 200ppm、(酢酸エチル)
50ppm、217mg/m³(キシレン)、50ppm188mg/m³(トルエン)
50ppm、217mg/m³(エチルベンゼン)
- ACGIH : (2007年度版) TWA 400ppm、STEL 200ppm(酢酸エチル)
TWA 100ppm、STEL 150ppm(キシレン)
TWA 100ppm、STEL 125ppm(エチルベンゼン)
TWA 20ppm(トルエン)

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 有機溶剤用防毒マスク等を使用する。
- 手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。
- 目の保護具 : 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面)
- 皮膚及び身体の保護具 : 静電気防止加工長袖作業衣等。
- 適切な衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- 形状 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 特異臭あり
- 臭いの閾値 : データなし。
- pH : データなし。
- 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲
- 沸点 : -
- 融点 : -
- 分解温度 : データなし。
- 引火点 : 16.5°C
- 発火点 : -
- 爆発特性

爆発限界 上限	: 11.4
爆発限界 下限	: 1.1
蒸気圧	: -
蒸気密度 (空気=1.0)	: -
比重	: 約1 (25℃)
溶解性	
水溶解性	: 不溶。
溶媒溶解性	: エステル系、ケトン系、芳香族系等の多くの有機溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分配係数	: -
自然発火温度	: -
その他のデータ	: -

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常取り扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
反応性	: イソシアネート類と反応する。
爆発性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 情報なし。
混蝕危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 情報なし。
その他	: 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: ラット LD50 5000mg/Kg 以上 (酢酸エチル) ラット LD50 4800mg/Kg (キシレン) ラット LD50 4800mg/Kg (トルエン)
(吸入)	: ラット LC50 6700mg/Kg (混合キシレン) ラット LC50 4800ppm (トルエン) ラット LC50 2000ppm (酢酸ブチル)
(経皮)	: ウサギ LD50 18000mg/Kg (酢酸エチル) ウサギ LD50 14100mg/Kg (トルエン)
皮膚腐食性/刺激性	: 中程度の刺激性 (キシレン、トルエン)
眼損傷性/刺激性	: 中程度の刺激性 (キシレン、酢酸エチル、トルエン)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器への刺激のおそれ
生殖細胞変異原性	: -
発ガン性	: データなし。
IARC	: -
日本産業衛生学会	: -
生殖毒性	: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器/全身毒性—単回暴露	: 臓器の障害。(呼吸器、肝臓、腎臓、中枢神経系) 眠気またはめまいのおそれ。
特定標的臓器/全身毒性—反復暴露	: 長期または反復暴露による臓器の障害 (呼吸器、腎臓、肝臓、中枢神経系)
吸引性呼吸器有害性	: 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

12. 環境影響情報

生態毒性	: 水生生物に毒性あり。長期的影響により水生生物に有害。
残留性/分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
土壤中の移動度	: データなし。

その他のデータ : データなし。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : おがくず、ウエス、珪藻土、吸着マットなどに吸着させ、免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明記して処理を委託する。

汚染容器・包装 : 空容器は他の目的に使用しないように穴を開けスクラップにする。

1 4. 輸送上の注意

国内法規制陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

国際法規制 : 航空輸送は IATA、および海上輸送は IMDG の規則に従う。

国連分類 : クラス 3 (引火性液体類)

国連番号 : 1 8 6 6

容器等級 : PGIII

国連品名 : -

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。消防法危険物第 4 類第 2 石油類に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。船舶安全法に基づく危規則の毒物類毒物に該当するので、海上輸送の場合には、同法に従って容器、標識およびその他必要な措置を講じて輸送する。

1 5. 適用法令

国内適用法

化審法 : 特定化学物質・監視化学物質に該当しない。

消防法 危険物 : 第 4 類 第 1 石油類 危険等級 II

安衛法 危険物 : 危険物 (引火性のもの)

表示 : キシレン、酢酸エチル、トルエン

有機則 : 第 2 種有機溶剤

特化則 : -

通知対象物質 : キシレン、酢酸エチル、トルエン

毒物劇物取締法 : 否

船舶安全法 : クラス 3 引火性液体

化学物質管理促進法 (PRTR 法)

: 第 1 種 80 号 キシレン

: 第 1 種 53 号 甲苯

: 第 1 種 300 号 トルエン

海洋汚染防止法 : 施行令別表第 1 有害液体物質 (Z 類物質等、4 2 : 酢酸エチルを含む) (Y 類物質 トルエン)

悪臭防止法 : 特定悪臭物質 (キシレン、トルエン)

1 6. その他の情報

※ ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱には細心の注意が必要です。使用前のテスト

トを含め本品の適性に関する決定は使用者の責任において行なってください。

記載内容の登録先

会社 : 竹林化学工業株式会社
担当部門 :